

全国協議会 ニュース

2015年7月1日発行 第277号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髓バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4KT ビル3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：野村正満 題字：仲田順和（会長）
http://www.marrows.or.jp E-Mail:office@marrows.or.jp

設立25周年
記念大会

韓国、豪州から患者さん 国際シンポ 6氏が25年を振り返る 市民シンポ

設立25周年記念大会が5月31日(日)、東京の早稲田大学国際会議場で開かれました。大会(午前10時～午後4時半)は式典、国際シンポジウム、市民シンポジウムの三部構成で進みました。



キヤラバンの横断幕を持つ市民シンポパネリストと全国のボランティア

●式典

主催者を代表して、全国協議会の仲田順和会長があいさつしたの続き、来賓の塩崎恭久厚生労働大臣(代理)、日本骨髓バンクの齋藤英彦理事長、日本赤十字社血液事業本部の西本至本部長(代理)、世界造血細胞移植ネットワークの小寺良尚理事長から、それぞれ来賓の祝辞を賜りました。

つづいて、25周年記念事業の一環である若年層ドナー登録映像作成コンペティションの授賞式に移りました。コンペには25作品の応募があり、ノミネートされた12作品を3人の審査員が審査したのですが、残念ながらグランプリは該当者がなく、審査員特別賞に橋剛史さんの「いのちのダンス」、YouTube上の最多再生回数賞に柿原利幸さんの「would like..」が選ばれ、審査員長の高橋伴明氏(映画「火火」

白血病フリーダイヤル
0120-81-5929

毎週土曜日10時から16時まで、治療や闘病生活のお悩みのお相談をお受けします。第2・4土曜日には専門医に直接相談できます。

ソニー生命がサポートしています。

の監督)から賞状と副賞が授与されました。

●国際シンポ

長村登紀子さん(東京大学医科学研究所附属病院)が進行役となって、まず慶應義塾大学医学部の岡本真一郎教授(日本造血細胞移植学会理事長)が、「わが国の造血細胞移植における国際協力の状況について」基調講演を行い、今年の9月から第3土曜日が非血縁者移植の「国際ドナーの日」となったことを報告しました。

日本骨髓バンクの国際協力(今年4月現在)では、日本のドナーからの提供が韓国182、米国23、その他39の計244であるのに対し、日本の患者さんへの受け入れが米国120、台湾40、韓国20、中国3の計183であることを発表しました。

次は海外からのゲストの登場です。韓国から元患者のキム・ドンハさん(39)と奥さん、そして主治医のミン・ウーサンさん、オーストラリアから元患者のエレム・タビサさん(13)と両親、それに主治医のラッセル・スーザンさんを

●市民シンポ

全国協議会の大谷貴子顧問が進行役となり、25年をほぼ5年ずつに分けての出来事を、当時の新聞や写真などで振り返ってから、6人のパネリストが次々と登壇して、テーマごとに報告する形式が取られました。

テーマと登壇者は次のとおりです。

- ①骨髓バンクの夜明け=幸道秀樹氏(都立多摩総合医療センター血液内科)
- ②ボランティアの会と骨髓移植推進財団発足=渡辺孝一氏(全国協議会第2代運営委員長)
- ③ボランティアによる骨髓バンク普及活動の全国展開=野村正満全国協議会理事長(NPO法人初代理事長)
- ④新たな挑戦とさい帯血バンク=谷口修一氏(虎の門病院血液内科)
- ⑤末梢血幹細胞移植の導入と解決すべき諸問題=小寺良尚氏(日本骨髓バンク副理事長)
- ⑥移植成績向上に向けた将来展望=衛藤徹也氏(浜の町病院血液内科)

骨髓バンクの最新情報をお知らせする

骨髄バンク NOW

《財団マンスリーJMDP(5月15日発行)より抜粋》

■日本骨髓バンクの現状(2015年5月末現在)

	4月	5月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,099	2,424	451,982	639,598
患者登録者数	295	240	2,767	45,010
移植例数	97	93	—	18,253

■5月の区別ドナー登録者数

献血ルーム/560人、献血併行型集団登録会/1,763人、集団登録会/58人、その他/43人

注)数値は速報値のため訂正されることがあります。

■5月の年齢別ドナー登録者数(現在数)

10代 2,510人/20代 70,916人/30代 144,687人/40代 184,369人/50代 49,500人

■5月の20歳未満の登録者392人

■5月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数:105件

9 都府県訪問(大阪 5.21 →東京 6.1)

大阪 5月21日、日本赤十字社近畿ブロックセンターと赤十字血液センターを表敬訪問しました。大阪センターには予定時間ぎりぎりになり、神前所長・正岡先生をひやひやさせました。ブロックセンターの藤村所長からは、近畿ブロック管内の各センターとの連携をより一層深め、バンク事業の推進を図るとのお言葉をいただきました。午後、田中・亀谷両登録係長と通天閣を訪問。移植経験者・山田司さんと幸運の神様ビリケンさんに、登録者数増加の願掛けをしました。(関西骨髄バンク推進協会・大畑江美)



和歌山 5月22日、商業施設メッサオークワガーデンパーク和歌山店において、ドナーの松坂英樹さ

んから血液センターへアピール文を手渡しました。センターの田村所長からは「献血と同じように骨髄バンクドナーも伸び悩んでおり、血液センターとしてもさらなる取り組みが必要と考えます」との言葉をいただきました。その後に参加者全員で、来店のお客さまに、献血と登録会の広報を行いました。地元テレビ、新聞各紙も大きく取り上げていただけたことは、広く知っていただく機会となったと思います。(大田進也)



奈良 キャラバンカーを前夜に和歌山県から引き継ぎ、スタートは赤十字血液センターから。職員の方々に見送られ、イオンモール橿原へ。イオンモール橿原では献血&骨髄

バンク登録会を行い、キャラバンカーの前で、4月に着任された谷慶彦所長にアピール文をお渡ししました。なら骨髄バンクの会のメンバーは、店内で献血と骨髄バンクの呼びかけをしました。(山村詔一郎)



滋賀 早朝、奈良から滋賀に移動したキャラバンカーは、日本一広い琵琶湖畔で清々しい空気を吸ってスタートしました。赤十字血液センターではアピール文をお渡しして、次はイオンモール草津へ。ここでは献血&骨髄バンク登録会を行っており、キャラバンカーも献血バスの横でPRに一役。



通常総会で5議案を可決

2015年度の通常総会は、25周年記念大会前日の5月30日(土)、東京・新宿の全労済東京会館で開催されました。加盟37団体(体会4団体)のうち24団体が出席、委任状7団体、表決書1団体、欠席1団体でした。

提案されたのは2014年度の事業報告・収支決算および監査報告、2015年度の事業計画・予算、それに役員を選任で、いずれも原案どおり可決されました。

2015年度の事業計画で特徴的なのは「財政構造の刷新」です。協議会は現在、厳しい財政運営を迫られており、打開策の一環として275号既報のとおり「企業向けの特別賛助会員」を新設するなどの措置をとることにしています。

また、隔年で訪れる役員改選期ですので、昨秋からの役員選挙・役員選考

渋谷氏、東井氏が新副会長に 理事会で野村理事長を再任

委員会などを経た新たな役員が選任(任期は7月~2017年6月)されました。正副理事長は6月21日(日)の第135回理事会で理事の互選によって決定しました。新役員は次のとおりです。(敬称略)

会長=仲田順和▽副会長=渋谷俊徳、東井朝仁、山下晋司▽理事長=野村正満▽副理事長=菅早苗、村上忠雄、田中重勝▽理事=内山景一郎、高野由美子、荒井善正、野澤明男、若木換、山村詔一郎、森脇豊、名川和志、田中雄一郎、辻枝雄▽監事=一樂邦彦、陽田秀夫



第135回理事会(6月21日)

報告事項

- ・当面の運転資金
- ・設立25周年記念大会
- ・2015年度通常総会・全国代表者会議
- ・第8回患者サロン予告
- ・確定申告&税務署・都への事業報告
- ・キャンサーフォーラム参加
- ・肉フェス

審議事項

- ・承認案件(会費減免2件、共催1件、後援名義1件)
- ・正副理事長の選任

検討事項

- ・財政状況と今後の見通し
- ・賛助会員制度の強力推進
- ・白血病フリーダイヤルのスポンサー契約
- ・設立25周年記念事業
- ・日本骨髄バンクの「患者負担金引き上げ」決定への対応
- ・非常勤事務局員の委嘱

その後、映画「火火」(高橋伴明監督)のロケ地で、主人公の神山清子さんの窯元へ。神山さん宅では信楽高原の爽やかな風の中、キャラバンカーものんびり過ごしました。(山村詔一郎)

三重 三重と言えばやはりお伊勢さん。25日に伊勢市議会議員さんも駆けつけ、まずは伊勢神宮でキャラバンカーと記念の一枚! そしてお伊勢さんの玄関、伊勢市駅前で啓発活動を行いました。その後は県道と国道をキャラバンカーでPRしながら走り抜け、県庁と赤十字血液センターでアピール文をお渡ししました。午後は津市、鈴鹿市、亀山市、四日市市、桑名市を移動し、桑名駅にて愛知へバトタッチしました。(勇気の会・三重県骨髓バンク推進連絡会議)



愛知 全国キャラバンで県庁・名古屋市役所を巡り、大村秀章愛知県知事や河村たかし名古屋市長と直接お話をさせていただきました。特に河村市長は、かつて国会議員だったところにドナーと患者の対面問題に取り組まれた経験をお話いただき、「是



土佐清水市長になったドナーがドライバーに

今回のキャラバンでは、高知県の泥谷光信土佐清水市長がドライバーを務めましたので、原稿をお願いしました。



月日が流れるのは早いものです。思い起せば、骨髓バンク「全国キャラバン隊」が、四国の最南端・土佐清水市を訪れたのは、16年前の1999年8月。当時、骨髓バンクの運動に感銘し、ドナー登録志願者を募る活動をしていた、私たち「白百合の会」が中心となって、若くして白血病で亡くなった地元土佐清水市の童話作家・和泉省作さんの追悼を兼ねて、キャラバン隊を歓迎した

非、名古屋で対面を」とのことで、新たな課題をいただいた気がします。今回のキャラバンを行うにあたり、非常に多くの方のご協力を得ることができました。ありがとうございました。(あいちの会・水谷久美)

静岡 「ドナーがリレーでつなぐ骨髓バンク・日本縦断キャラバン in 静岡」を県、静岡市、浜松市、赤十字血液センターで開催しました。静岡市消防音楽隊の演奏もあり、「竹千代君」(徳川家康の幼名)のゆるキャラも登場。多くの人に見送っていただき、次に訪れたのは長年骨髓バンクを

ことを昨日のように思い出しました。

今回の日本縦断キャラバンでは、時間的な余裕がなく十分なお手伝いできなかったのですが、ご依頼があった「ドナー助成制度」の創設をはじめ、これからも地方自治体として、地道に骨髓バンクの普及啓発活動をつづけてまいります。



支援いただいているバレーボールVリーグの東レアローズです。選手全員の歓迎を受け、サインをいただきました。楽しい交流に大感謝、充実した2日間でした。協力そして参加くださった皆さん本当にありがとうございました。感謝、感謝、感謝です!(静岡骨髓バンクを推進する会)



● 25周年記念事業へのご寄付

トヨタレンタリース東京	30,000円	瑞浪桔梗ライオンズクラブ	10,000円
ヤンセンファーマ株式会社	400,000円	サンメッセ株式会社	100,000円
C.H.C. システム株式会社	100,000円	株式会社ボンフォーム	100,000円
美濃加茂あじさいライオンズクラブ	10,000円	AATJ株式会社	100,000円
株式会社エアネット	100,000円	公益財団法人HLA 研究所	30,000円

骨髓バンク 患者負担金

10月値上げに反対の要望書

日本骨髓バンクは6月9日の理事会で「患者負担金改定」を決めました。2014年度決算が1億円を越す赤字となったことなどから、ドナーの血液検査料のうちバンクが肩代わりしていた1人当たり3985円を患者負担とするものです。これまで平均して19万200円だった負担金が10月から1万5940円アップの20万6140円になる、というものです。

これに対し、全国協議会は6月21日の理事会で「改定を撤回する要望書」の提出を決定、24日にバンクの齋藤英彦理事長に宛てて提出し、塩崎恭久厚生労働大臣にも「指導」を要望する文書を提出しました。撤回を求める理由(概略)は次のとおりです。

①バンクの経営はずっと黒字決算だったが、単年度で赤字決算となったからといって、患者負担金の値上げに

転嫁する前に、公益法人として他の収入増や支出減について十分な努力がなされていない。

②患者負担金は減免制度があるとはいえ、まず支払わないと利用できないもので、国民皆保険制度のもとで公平性を欠くうえ、一番の弱者にバンク経営の責任を押し付けるものである。

③バンクは、公的な席で負担金の「削減」や「軽減」あるいは「解消」という表現を使っているが、今回の値上げ決定はこの方針と大きく異なる。

神奈川

28日夕刻、東海大学病院小児科の入院患者さんに、記念のプレゼントを差し上げました。29日は神奈川県血液センターへ向かい、献血車のお出迎え。マスコットけんけつちゃんのご案内により、レッドカーペットを敷きつめた会場でメッセージの手渡しなどセレモニーを行い、全員での記念撮影。午後は川崎で骨髄バンクの広報およびドナー登録会を実施しました。多くの皆様の温かいご支援、ご協力に感謝申し上げます。(村上忠雄)



東京

約半分の日程と走行距離をこなし、5月29日に神奈川の会から東京の会に引き継ぎました。30日は木場公園で荒井 DAZE



善正さんのSNOW BANKと共催で行った木場公園イベント広場で雄姿を観客に示し、31日には全国協議会25周年記念大会会場の早稲田大学国際会議場構内に鎮座しました。(東京の会・新田恭平)

日赤本社、厚生省、骨髄バンク 東京では「キャラバン宣言」

6月1日には東京の会と全国協議会が日本赤十字社本社・厚生労働省・日本骨髄バンクを表敬訪問するとともに、東京の会だけで東京都保健健康局と血液センターを訪問しました。各訪問先とも、キャラバンの趣旨をよく理解され、大勢の職員の皆様が温かな送迎をしてくださいました。日赤・厚生省・バンクにはそれぞれ「日本縦断キャラバン宣言」を読み上げてお渡し



日赤本社では大勢の職員が歓迎

しました。

楽しいラッピングとこれまで走破してきた地域のボランティアの皆さんと東京の会のメンバーが願いを込めて書き込みした赤丸募金を付けて走るキャラバンカーを見ると、通行中の人たちが何ごとかと関心をもって視線を送ってくるのがわかりました。(東京の会・新田恭平)



厚生省の阿萬移植医療対策推進室長を囲んで



骨髄バンクの齋藤理事長に「宣言」を読み上げる協議会の野村理事長

若手医療者マイレージ支援 シンガポールでの学会 理学療法士への初助成

自治医科大学附属

さいたま医療センター

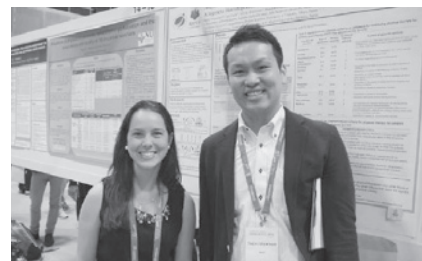
リハビリ部 宮村 大治郎

シンガポールで開催された The World Confederation for Physical Therapy (WCPT = 世界理学療法連盟) 2015の学会 (5月1日~5日) に参加し、同種造血幹細胞移植患者に対する理学療法の実施判断に関する調査について発表しました。欧米だけでなくアフリカなど各地から多くの参加者があり、日本との違いを感じたのは女性の療法士が多く、参加者の年齢は30代以上のキャリアを積んでいる方が多い印象でした。

発表内容は日本国内の学会では珍しいRTCなど研究デザインとしてきちんと組み込まれていることも多く勉強になりました。2241あった演題のう

ち、がんのリハビリテーションについては口述8、ポスター26演題のみで、血液疾患に関しては日本からの参加者2演題だけでした。

今回、全国協議会の助成を受けて国際学会に初めて参加できたことは理学療法士として貴重な経験となり、今後の研究活動の意欲とすることができました。がんのリハビリテーションは世界でもまだまだ活発とはいえず、少しでもこの分野の発展に寄与できるよう



に精進していきます。血液関連の国際学会での発表を目標として助成の機会をいただけるよう頑張りたいと思います。

心からのご寄付に感謝申し上げます ●5月21日~6月20日(敬称略)

パワーバランスジャパン株式会社 現金 12,428円	●白血病患者支援基金 カラオケハウスマロン 松林 晴明 現金 35,800円	骨髄バンク普及啓発ボランティア らいらっくの会 現金 10,000円
株式会社ハローデイ 現金 1,120,000円	山崎 裕一 現金 10,000円	志賀 としえ 現金 8,480円
陽田 秀夫 現金 200,000円	中山 雅雄 現金 1,500円	山崎 裕一 現金 10,000円
中熊 一郎・千香 現金 20,000円	●佐藤さち子患者支援基金 ターラさんを支援する会 現金 1,638,730円	福原 卓也 現金 6,000円
山崎 裕一 現金 30,000円	匿名 現金 100,000円	匿名 現金 5,000円
匿名 現金 5,000円		匿名 現金 2,000円
匿名 現金 5,000円		●こうのとりのマリン基金 ターラさんを支援する会 現金 2,000,000円

活動資金の援助をお願いします

銀行口座 三井住友銀行 新宿通支店 普通 5666655

郵便振替口座 00150-4-15754

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会